

□7月6日説教(隅野徹牧師)短縮版
「まず行って仲直りをする」(マタイ5:21～26)

今回の箇所では「何を差し置いても相手と仲直り・和解することの大切さ」をイエス・キリストが教えておられるのですが、この方ご自身が「和解・仲直り」を導いてくださるお方なのです。誰との和解をもたらされるかという、「私たちの造り主である神と、その神に従わない私たちを和解させるため」です。そして「同じ神に造られた尊い命であるはずの隣人と自分との和解を実現するため」です。

人間となって下さった主イエスは、私たちの罪を全てご自分の身に引き受けて、十字架にかかって死んで下さいました。このイエスの十字架の贖いによって、神は私たちの隣人を大切にしない、そして神を大切にしないという罪を赦して、和解の手を差し伸べて下さったのです。

このように自分が「御子キリストによって」神から特別に赦されていることを心から受け入れることによって、「特別な赦しを与えて下さっている神に感謝し、神を愛して生きる」ことができます。それだけでなく隣人を愛し、受け入れる人として新しく生きることができるようになります。そして「自分に反感、敵意を持っている兄弟と和解して、つまりその兄弟をも愛することができるようになっていく」のです。

私たちの決意や努力によってできることでもありません。しかしイエスの十字架の死による神の愛を信じて、神と和解して、神との良い交わりを与えられていくことだ、それは可能になります。分断と憎しみ合いが連鎖する、この世の中であって、私たちは、キリストによる神の和解の恵みを受けていることをいつも忘れずに歩んでまいりましょう。(終)